

日本語パートナーズ@タイ・スリン(齋藤さんの活動レポート)



府中国際交流サロンで「外国につながる子ども」学習支援の活動を2年間続けてきた齋藤彩さん(カンボジア専攻3年)が、5月から国際交流基金「日本語パートナーズ」として、タイに派遣されました。その活動レポートをご紹介します。「日本語パートナーズ」事業について詳しい問い合わせは、留学支援共同利用センターの職員までお願いします。

5月9日に日本を発ちバンコクでの研修を終え、タイ・スリン県に来てから1週間が経ちました。

先週の月曜日から始まった授業では自己紹介と簡単な発話モデルを行いました。まだまだ何をしたらいいのか手探り中ですが、優しい先生について行き、かわいい生徒達と関わりながら見つけていきたいです。

パートナーのミャオ先生も、学校の他の先生方もアパートの大家さんファミリーも町の方々も本当に優しくとっても楽しいです。ただタイ語がなかなか話せないのが相手の方が困ってしまうシーンが多々あります。勉強します。たくさん声に出す努力をします。

派遣先であるスリンはカンボジア国境に接しているためクメール語(カンボジア語)を話す方もたくさんいらっしゃいます。またお手伝いをしている学校にはクメール語の授業もあります。なので、私が大学でクメール語を勉強していると聞くと、話せる先生方や生徒達はクメール語で話しかけてくださいます。一つの地域に様々な言葉が混ざり合った環境はとっても刺激的です。

1週間で既にたくさんの経験や発見をさせていただきましたが、全部書くともっと長くなってしまうので、次回をお楽しみに♪

日時: 2016年05月23日

